

2002年3月期 中間決算説明会

2001年11月20日 東京ガス株式会社

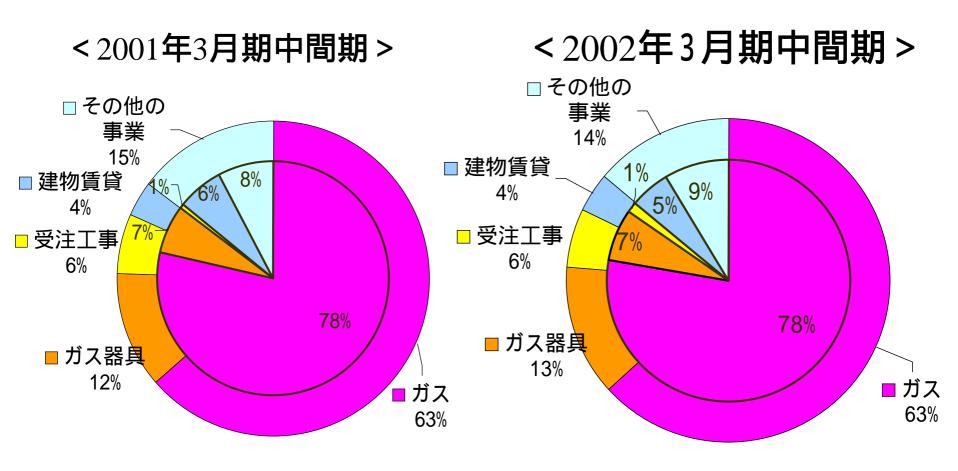


中間決算総括(連結)

	00年9月	01年9月	01年5月時点	見通しとの
	中間実績	中間実績	中間見通し	差異
売上高	4,611 億円	4,807 億円	4,880 億円	73 億円
(前年比)		(+4.2%)	(+5.8%)	
営業利益	292 億円	267 億円	270 億円	-3 億円
(前年比)		(-8.4%)	(-7.5%)	
経常利益	169 億円	110 億円	110 億円	±0 億円
(前年比)		(-34.5%)	(-34.9%)	
当期純利益	35 億円	87 億円	70 億円	+17 億円
(前年比)		(+145.8%)	(+100%)	



連結セグメント別構成比



外側:売上高

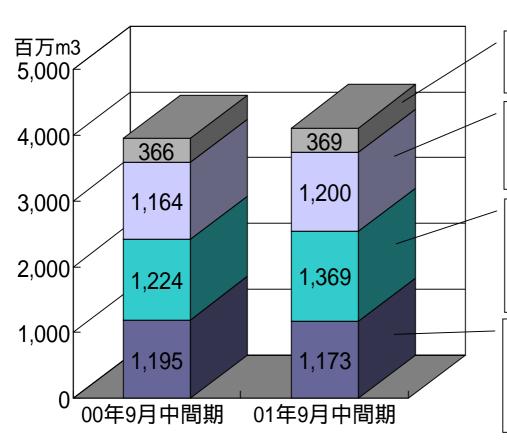
内側:営業利益



ガス販売量実績(連結)

合計 39億48百万m3 合計41億10百万m3

<対前中間期> +4.1%



卸供給 +0.4 % 卸先に引取量の増減

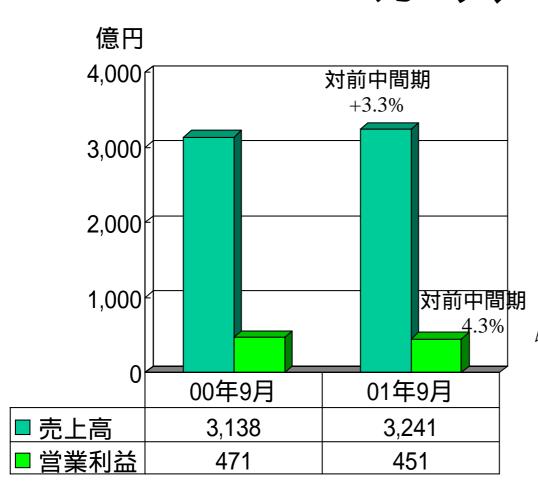
商業用その他 +3.2 % 新規空調物件の稼動等 による空調需要の増加

工業用 +11.9 % 新規需要家の獲得、東 京電力品川火力発電所 の新規稼動等

家庭用 1.8 % 4月および梅雨明けの高 気温による影響により減 少



< ガス >



<要因 >

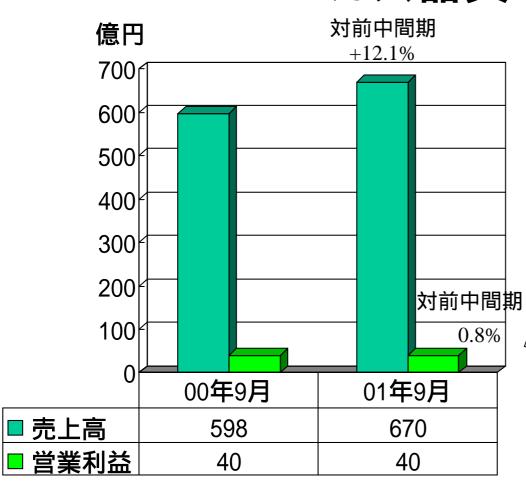
2月のガス料金引下げに より減収。

販売量対前期比 + 4.1% と、スライドにより売上増。

原油価格は低下したものの為替レートが円安に推移したことにより原材料費が増加したことにより営業利益が減少。



<ガス器具>



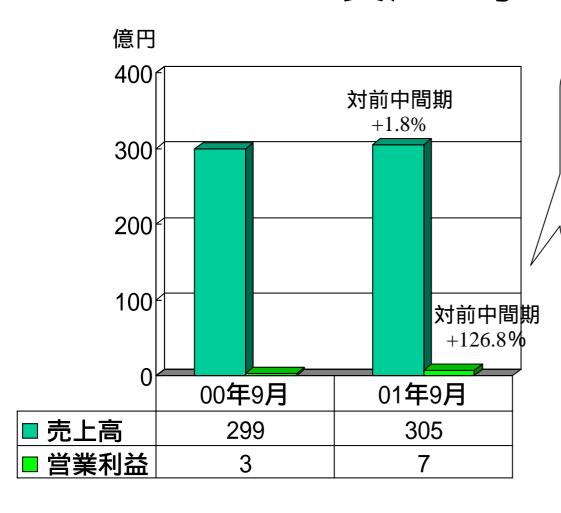
<要因 >

床暖房、GHP、TES等の販売 好調により売上増。

商流合理化による納入価格の低減等コスト削減に努めたものの、床暖房、GHP、TESなどの主力商品のさらなる普及・拡大に向けての需要開発費の増加等のため営業利益は前年並み。



<受注工事>



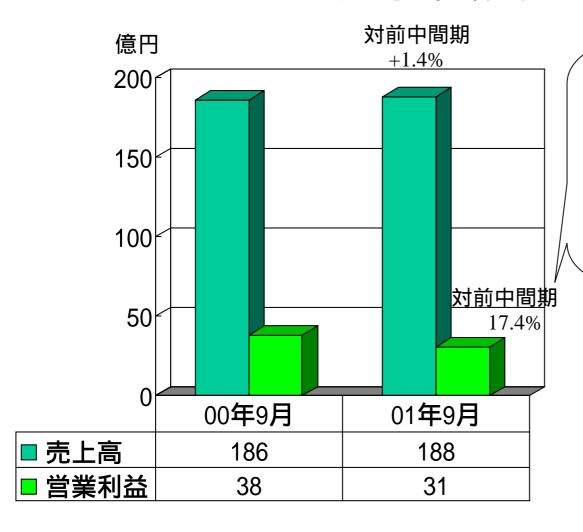
<要因>

新設工事件数の増加により売上増。

営業費用は前中間期 並みで営業利益増。



<建物賃貸>



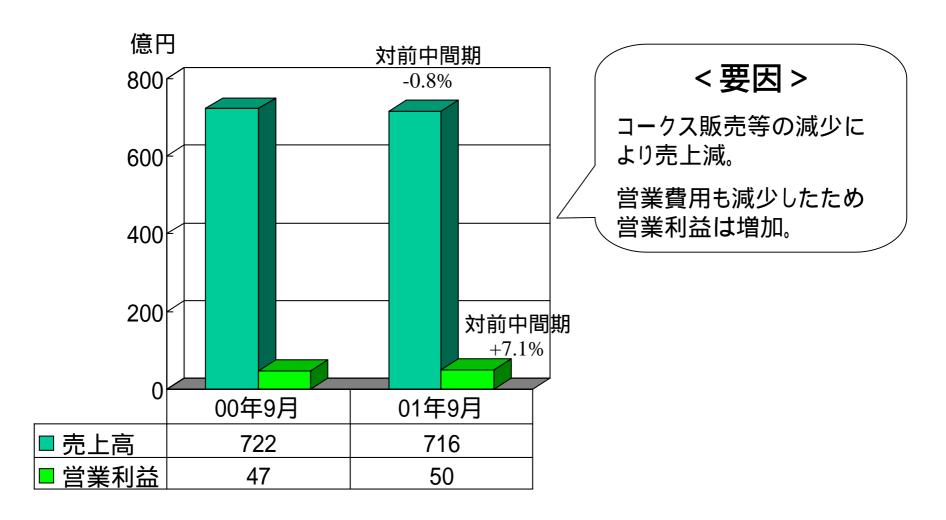
<要因 >

新規テナントの獲得等により売上増。

減価償却費の増加等による営業費用増により営業 利益は減少。



<その他事業>





連結費用

項目	01年9月 実績	00年9月比增減	増減率
売上原価	2,503 億円	+220 億円	+9.7%
供給販売費	1,699 億円	+25 億円	+1.6%
一般管理費	337 億円	26 億円	7.2%
総費用	4,539 億円	+220 億円	+5.1%



連結利益

項目	01年9月 実績	00 年 9 月比 増減	増減率
営業利益	267 億円	25 億円	8.4%
営業外損益	156 億円	34 億円	
経常利益	110 億円	59 億円	34.5%
当期純利益	87 億円	+52 億円	+145.8%



2002年3月期業績見通し(連結)

	01 年 3 月期	02年3月期見通し		
	実績	今回	前回(5/21)	差異
売上高	10,867 億円	10,940 億円	11,000 億円	-60 億円
(前年比)		(+0.7%)	(+1.2%)	
営業利益	1,036 億円	960 億円	940 億円	+20 億円
(前年比)		(-7.4%)	(-9.3%)	
経常利益	668 億円	660 億円	560 億円	+100 億円
(前年比)		(-1.3%)	(-16.3%)	
当期純利益	275 億円	430 億円	350 億円	+80 億円
(前年比)		(+55.8%)	(+26.8%)	



主要経営指標通期見通し(連結)

	01年3月期	02 年 3 月期見込み		
	実績	今回	前回(5/21)	差異
FCF (前年比)	665 億円	770 億円 (+105 億円)	670 億円 (+5 億円)	+100 億円
ROA (前年比)	1.5%	2.4% (+0.9%)	2.0% (+0.5%)	+0.4%
有利子負債 (前年比)	8,703 億円	8,040 億円 (-663 億円)	8,070 億円 (-633 億円)	30 億円

TOKYOGAS 連結グループ事業系統図

(参考)

